

外務省主催 中東セミナー

「中東の安定と繁栄に向けたテロ対策を含む国際社会の取組」

中山外務副大臣挨拶(全文)

平成 27 年 7 月 22 日

ご列席の皆様、

本日はニューヨークから中東諸国の国連常駐代表の皆様、また有識者の先生方をお迎えして、中東の安定と繁栄に向けた今日的課題や今後の取組みに関し、議論ができることを大変嬉しく存じます。

中東地域は今、暴力的過激主義の跳梁跋扈、紛争による人道状況の悪化や、不安定な情勢による社会基盤の荒廃等、混迷を極めております。中東の安定と繁栄は、日本を含む世界にとり非常に重要です。国際社会はその努力を結集し、中東の安定に向け積極的に取り組んでいかなければなりません。

ISILに代表される暴力的過激主義は、いまや中東地域のみならず、国際秩序に対する重大な脅威となっています。本年初め、邦人2名が犠牲となったISILによるテロをはじめ、各地でテロが頻発しています。このような非道・卑劣極まりないテロ行為は、言語道断の暴挙であり、到底受け入れられるものではありません。中東地域から暴力の芽を摘むためには、「中庸が最善」の精神を旨として、日本の強みをいかして過激主義を生み出さない社会を構築する必要があると考えます。

このような観点から、安倍総理は本年1月のエジプト訪問時に、中東全体に対し25億ドル相当の支援を表明しました。また、シリア及び周辺国に対し総額約5億ドルの人道支援を表明しています。これらの支援が、安定した中東を築くための重要な貢献になると信じています。日本は「約束を守る国」であり、着実にこれらの支援を実施していく考えです。

本年は国連創設70周年の年でもあります。国連の創設以来、国際社会を取り巻く現状は大きく変化したにもかかわらず、安保理の構成は残念ながらほとんど変わっていません。我が国は、中東地域が直面している課題に国際社会が有効に対応していくためにも、安保理を含む国連の改革が必要と考えます。また、10月には我が国が立候補している安保理非常任理事国選挙が実施されます。我が国が無事当選を果たした暁には、安保理が、中東地域の安定と繁栄のためにより効果的に対処できるよう努力をしていきたいと考えています。

我が国は、中東地域の安定と繁栄の実現に向け、今後とも国連及び国際社会と協力し、建設的な役割を果たす決意です。今日のセミナーが、中東地域の安定の実現のための一助となることを期待し、私からのご挨拶とさせていただきます。